

コロナ克服!
山形経済
再生!!



発行責任者
勝見忍

山形市薬師町2-6-15

TEL 023(615)2172

FAX 023(615)2173

URL:<http://www.yamagataroren.com/>

Email:
yamagataroren@yahoo.co.jp

山形県知事選挙 1月24日投票

吉村みえこ必勝で、コロナ禍から
県民のいのちと暮らしを守る県政の継続を!

期日前投票の期間・時間・場所

1月23日(土)まで

午前8:30~午後8:00

(投票場所によって時間が違う場所があります)

市町村の役所、役場、公民館など

◎投票時間、場所などはすでに郵送された「投票所入場券」に明記されています。

確認してみてください。

大雪やコロナが心配でも
期日前投票なら、都合の
よいときに投票できます。

毎日が投票日
期日前投票を日
活用しましょう!



各地域とオンラインでつないだ決起集会（1月18日山形市）

県知事選挙 最後まで奮闘が勝敗分かつ 吉村みえこ必勝へ 総決起集会ひらく

県知事選挙で吉村みえこ氏の必勝をめざす「総決起集会」が一日、山形市内で開かれました。県労連、県医労連、明るい県政をつくる会の共催で、山形市のビッグウイングをメイン会場に、米沢市と鶴岡市の会場をオンラインでつないで開催しました。

県労連の勝見忍議長は主催者あいさつで、コロナ対策に無策の菅政権とのパイプを太くしようとする相手候補を批判。いのちと暮らしを守る県政を守ろうと訴えました。

吉村選対本部・「元気未来！やまがた」の岡田久一会長からメッセージが寄せられました。続いて、舟山康江参議院議員代理の松尾正夫さんが連帯あいさつ。芳賀道也参議院議員からビデオメッセージが寄せられました。

さらに、全労連の小畑雅子議長がリモート参加して連帯あいさつを行いました。小畑議長は、山形知事選の全国的な意義を強調。全国初のPCR検査センターの設置、少人数学級の推進、先駆的な中小企業支援の実施、そして全国一律の最低賃金制度実現を国に提言し続け、全労連の最賃集会にもメッセージを寄せたことなどを紹介し、吉村氏が再選されれば全国にも大きな影響を与えると、全労連として全力の支援を表明しました。

動画で映し出された吉村候補は、「コロナ禍を乗り越えることが当面の課題であり、県民のいのちと暮らしを守る」ことが私の使命」との使命感と気迫込めて訴えました。明るい会が、対話と支持拡大の徹底、期日前投票の促進など行動提起。県医労連の渡辺勇仁委員長が閉会あいさつ、オンラインカードを掲げ必勝を三唱しました。

吉村県政の実績と大内りか候補の政策を比較しました
 吉村：コロナ対策重視、医療・介護の現場支援、少人数学級の推進
 大内：コロナ後の政策だけで当面の対策なし、大型公共事業偏重、教育は競争

「人口減少」「防災対策の遅れ」「県立病院の赤字」は、自公政権の政策にこそ原因があります。それを吉村県政の責任にする前に、大内氏は国に対して言うべきことを言うてきたのでしょうか。「秋田県との比較」「若い女性の転出」についての大内氏の主張は、事実と反する部分があります。

	吉村 (立民・共産・国民自主支援)	大内 (自民・公明推薦)
焦眉の課題 コロナ対応	新型コロナから県民の命と健康、生活も守る(第一声)	コロナ後しか語らず、コロナ対策語らない(第一声)
コロナ対策に不可欠 病院支援	コロナ禍、県独自で約27億円の県立病院支援(昨年6月議会)	県立病院の赤字にしっかりメス(HP政策から)
なぜ今?! 県庁移転	2040年までは使用可能。仮に現在地に建て替えれば400億円(昨年12月県答弁)	山形市中心部に県庁移転(HP政策から)
コロナ対応も問われる 教育	少人数学級編成の推進	県議時代に学力低下の危機感を煽る質問(2017年)
国の責任も問われる 災害対策	国の補助がないため河川の河道掘削・浚渫など県独自で実施	県と国が手を結び、最上川の河川整備、周辺の河川整備(HPから)
秋田県は公共事業が多い!? 財政	山形県の農地基盤整備は大部分が終了。秋田県は整備を進めている最中(昨年10月県答弁)	秋田県は、財政規模は大きい。国から金も沢山入る。河川や県土、学校の整備が進まない。(第一声)
若い女性の県外流出	15~29歳の県内女性の転出超過率は3.4%。全国4番目に高い(朝日12/2) 県は最低賃金全国一律を国に要望	若い女性が県外に出ていく割合は全国一高い県(第一声)